

発行責任者  
埼玉県西部支部  
支部長 岡部奈緒美

発行日  
令和7年2月1日

事務局  
〒350-0451  
入間郡毛呂山町  
毛呂本郷 227

# 東洋大学校友会 埼玉県西部支部だより



埼玉県西部支部総会 (2024.7.6)

## 支部長あいさつ

埼玉県西部支部支部長 岡部 奈緒美  
(昭57年卒・経済)



東洋大学校友会埼玉県西部支部の皆さま、こんにちは。日頃より、温かいご支援を賜り誠にありがとうございます。埼玉県西部支部は二〇二五年に創立二十二年目を迎えます。礎を築いていただきました諸先輩方、今日までけん引してくださりました支部役員の方々に心から感謝を申し上げます。

「第一〇一回 東京箱根間往復大学駅伝競走」において、東洋大学は第9位でゴールし、二十年連続のシード権を獲得しました。酒井監督と選手の方々のご健闘を称え、心からお祝いを申し上げます。おめでとうございます。今年も、四区の小田原と七区の国府津、十区の内幸町で沿道から声援を送りました。内幸町では四校によるシード権を競うデッドヒートの中で目の前を走っていく母校の選手に熱い声援を送りました。

二十年連続シード権を獲得した最初の年は二〇〇六年であり、私たちの埼玉県西部支部が創立された一年半後のことでもあります。私たちの支部はこの栄えある記録とともに歩いているのです。このことを誇りに「他者のために自己を磨く」「活動のなかで奮闘する」という東洋大学の心を胸に刻み、これからも母校とともに歩いてまいります。今後とも皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 【二〇二五年支部総会のご案内】

支部総会 七月五日(土) 午前十一時～

川越キャンパス4号館4階

懇親会 同日 午後一時～

鶴ヶ島駅前「おおさわ」送迎バスにて移動

## ようこそ梅の里越生町へ！

―百鬼丸と越生梅林散策ツアー―



撮影を行い、それぞれの会員が作品を見学したり、グッズの購入をしていました。その後は時間まで自由に園内を散策しました。12時に昼食場所へ向かうため、越生梅林を後にしました。

昼食及び懇親会会場は、創業が明治15年、老舗の蕎麦処よしひろで、店主の斎藤昭次氏は現在92歳で昭和30年経済

昨日までの雨が信じられないほど、穏やかに晴れ渡り、絶好の行楽日和となった令和6年2月24日、校友会々員13名は越生駅に集合し、午前10時に越生梅林ツアーがスタートしました。

路線バスに乗車して、約15分ほどで越生梅林に到着しました。園内に足を踏み入れると、微かな梅の香りが漂い、目の前には白やピンクの梅の花が広がっていました。園内を走るミニ蒸気機関車を眺めながら、先ず訪れたのは、大学の卒業生で切り絵作家である百鬼丸氏が出店しているイベントブースでした。百鬼丸氏と面会し、一緒に記念



学部卒業の埼玉県西部支部最古老。我々の大先輩でした。その店主自らが打った手打ち蕎麦を舌鼓を打ちながら頂きました。

懇親会は、自己紹介から始まり、岡支部部長から大学の現状等の説明があり、また、大学のスポーツの話題で盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。店を出て駅に向かい、越生駅で越生梅林ツアーのゴールとなりました。参加者の皆さんは、楽しい思い出を土産に家路につきました。

石川 久芳(78年社会卒)

## 暑気払い&パリオリンピック池田選手の応援



### ガンバレ！ 池田選手 東洋大学校友会埼玉県西部支部

キロだけに。今まで50キロに出場していた選手もエントリーし競争が激化した。大会7日目いよいよ競歩20キロスタート前半は快調なペースで進み、17キロ過ぎから、5人の先頭集団から池田選手が遅れた。本人は、残り5キロ以降から勝負と想定して望んだが「体力が残っていないかった」。

レース後、池田選手は終始おだやかだった。「最強選手の決定戦で自分の位置が7番目というだけ、開き直るというか、すがすがしい気持ちです」(本人談話)

次の大会は、表彰台の真ん中をめざし頑張っていたきたいと願っています。(文責 中村)

8月1日校友会埼玉県西部支部役員有志による、暑気払いをかね鶴ヶ島市の日本料理「おおさわ」にて、大型テレビによる応援を行いました。池田選手のプロフィールは、静岡県浜松市出身で名前の「向希」は、希望に向かうという意味でつけられたそうです。

前回の東京オリンピックでは、銀メダリスト2年前の世界選手権も2位という実績で望んだ今回のパリ大会。表彰台の真ん中を目指し、「何かを変えないといけない」と選任コーチの元を離れ、陸連主催の合宿や練習に参加。「武者修行」を通して自分の歩みを磨いた。

パリ大会から競歩の個人種目は、20





女性連絡会主催『札幌ツアー』  
(2024.10.3.)

東洋大学朝霞キャンパス訪問・見学ツアー



した。しかし、キャンパスを含めた周辺の光景は46年の間に大きく変貌しており、赤土で土埃の舞い上がっていたグラウンドもきれいな人工芝のグラウンドになっていました。まさに「浦島太郎」の気分になりました。

ご案内いただきました金子律子副学長と事務課の細田課長、山口さんにお礼を申し上げます。

埼玉県西部支部では、11月22日(金)『東洋大学朝霞キャンパス訪問・見学』を開催しました。好天に恵まれ、東武東上線朝霞台駅・JR武蔵野線北朝霞駅から学生たちとともに徒歩にてキャンパスへ向かいました。今年オープンした朝霞キャンパスは、あまりにも素晴らしく感激でした。私たちは1〜2年生の2年間を先輩のいない朝霞キャンパスで過ごした最初の学年だったため、懐かしさはひとしおでありま





「校友会創立130周年記念式典」開催

11月9日(土)東洋大学白山スカイホールにて東洋大学福川総長、安齋理事長、矢口学長、油井常務理事、笠原事務局長をお迎えして、盛大に開催されました。(詳細は校友会HPをご覧ください)



『2025箱根駅伝』の健闘を祈念して、埼玉県西部支部より激励米を贈呈しました。



箱根駅伝



「2025年 第101回東京箱根間 往復大学駅伝競走」  
第9位 おめでとうございます！  
復路ゴール直前までの4校によるデッドヒートを制して20年連続のシード権を獲得しました。  
酒井監督と選手の皆さんのご健闘を称え、心からお祝い申し上げます。  
来年の三大駅伝も期待しています。